

生老病死を考える 「メントモリ — 死を想え」 逝く人を見送るということ

ひとは皆、「生」を生き、「死」を迎える
逝く人を見送るカタチは、それぞれの文化のありよう、
そして死生観を照らしています。

人生100年時代にあって、ひとの生死が見えにくくなった時代に、
地域のなかで、死生観はどのように変遷してきているのでしょうか？
各地の火葬の在り方についての調査をされている研究者のお話をうかがい
死を想うことで、いま私たちの「生」のありようを考えたいとおもいます。
メントモリ（死を想え）は、メント・ヴィータ（生を想え）なのかもしれません。

入場無料

無人のお気持ち箱を設置しますので、
お気持ちのご協力をお願いいたします。



Asia CancerForum
<https://asiacancerforum.com>

とき 7月1日(土)

14:00 ~ 16:00

ところ 光教寺本堂

南砺市井波 1735
(0763) 82 - 0074

オンラインでのご参加
も可能です。左の QR
コードから参加をお申
し込みください。



遠山 和大

富山大学総合情報基盤センター
講師



河原 ノリエ

一般社団法人アジアがんフォーラム
代表理事



堀田 季何

文芸家

プロフィールは裏面をご参照ください。



遠山 和大 Toyama Kazuhiro

富山大学総合情報基盤センター講師

2005年、富山大学大学院理工学研究科中退。専攻は雪氷学で、北アルプス山岳地の雪に含まれる化学成分を分析し、アジア大陸からの越境汚染について調べてきた。

2006年京都女子大学非常勤講師、2009年岡山大学学務部（のちに教育開発センター）助教、2016年富山大学総合情報基盤センター講師。

現在は富山大学生の情報教育に関する仕事をしながら、南砺市周辺で昔の火葬について調査をしたり、欧州やインドネシアの火葬文化の調査を行っている。



河原 ノリエ Kawahara Norie

一般社団法人アジアがんフォーラム 代表理事

1961年富山県庄川町生まれ。一般社団法人アジアがんフォーラム代表理事・一般社団法人アジア未来研究機構代表理事。UICC国際対がん連合日本委員会広報委員長トヨタ財団国際助成プログラム「日本と中国の地域コミュニティにおける誰ひとり取り残さないがんと暮らしを問い直す学びあいの構想と実践」を中国蘇州市・ハルビン市と砺波市・南砺市とともに、「リラの木のいえ」を拠点に行っている。



堀田 季何 Hotta Kika

文芸家

1975年生まれ。文芸家。俳誌「楽園」主宰、歌誌「短歌」同人。芸術選奨文部科学大臣新人賞、現代俳句協会賞、日本歌人クラブ東京ブロック優良歌集賞など。現代俳句協会理事、国際俳句協会理事、現代歌人協会会員、日本歌人クラブ会員、日本文藝家協会会員。詩歌集『惑亂』、『亞刺比亞』、『星貌』、『人類の午後』、詩歌ガイドブック『俳句ミーツ短歌』。多言語多形式で創作、翻訳、批評。

とき 7月1日（土）
14:00 ~ 16:00

ところ 光教寺本堂
南砺市井波 1735
(0763) 82 - 0074

入場無料

無人のお気持ち箱を設置しますので、
お気持ちのご協力をお願いいたします。

主催 アジアがんフォーラム、光教寺
後援 光教寺総代会、光教寺尼講



Asia CancerForum
<https://asiacancerforum.com>